

事務事業名		雲南市農林振興協議会事業		所属部	農林振興部	所属課	農政課
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>		所属G	地域支援G	課長名	高田浩二
	施策名	(36)農業の振興		担当者名	佐藤 誠二	電話番号	0854-40-1051
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		(内線)	2415
	基本事業名	(111)農畜産物の販売及び販路拡大		予算科目	会計 013001	大事業名	農業振興総務管理事業
目的:対象	担い手農家・担い手以外農家	意図	販売額が増加する。	項目	052557	中事業名	農林振興協議会補助金

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (17年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市の農林業について関係団体の連絡調整を行い、その振興を図る。 【構成団体】 雲南市、島根県農業普及部、JALまね雲南地区本部、飯石森林組合、大原森林組合、島根県農業共済組合、担い手代表、雲南市野菜生産組合、雲南市和牛改良組合 【事業内容】 ①農林業振興に係る補助金の交付 ②協議会の運営(総会・幹事会の開催等)

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動)		30年度計画(30年度に計画する主な活動)			
		1. 農林業振興事業補助金の交付(市内の生産者組織等が行う生産活動等に対する助成) 2. 総会の開催(6月) 3. 幹事会の開催(6月)		1. 農林業振興事業補助金の交付(市内の生産者組織等が行う生産活動等に対する助成) 2. 総会の開催 3. 幹事会の開催			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	ア 総会開催数	回	1	1	1	1	
	イ 幹事会開催数	回	1	1	1	1	
	ウ						
	エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	農業従事者	ア 農家数	戸	3,899	3,899	3,899	3,899
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
雲南市の農林業を振興するため、市内農林業団体等との連携を図り生産者組織等が行う生産活動等に係る支援を行うことで、農業担手を育成すると共に、農家の所得向上を図る。	ア JALまね(雲南地区本部)販売額	億円	23.2	21.0	23.8	26.0	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
農林振興協議会補助金 9,000千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	9,500	9,000	9,000
	事業費計(A)	千円	9,500	9,000	9,000	7,500
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2
延べ業務時間		時間	230	230	230	
人件費計(B)		千円	900	912	938	
トータルコスト(A)+(B)	千円	10,400	9,912	9,938		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
農業従事者の高齢化や、担い手の不足等により耕作放棄地の増加等が見られるようになってきた。	総会、幹事を通じ、行政・農林業団体が連携し、生産振興に必要な施策を講じている。	雲南市の農林関係団体の連携を図る組織として、市の農林施策の実効ある執行が期待されている。早期に総会を開催し、補助金等の速やかな予算執行が求められている。

事務事業名	雲南市農林振興協議会事業	所属部	農林振興部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	さらなる農林業の振興を図るため現在の活動回数を増やす必要がある。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	農林関係の組織団体等を雲南市農林業振興協議会に纏めており類似事業はない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費は、農林業の振興を図る上で必要な額である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	適正な事務執行に努めており削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	構成員のJALまね雲南地区本部、森林組合等に負担を求めることを検討する必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		本協議会は、市の農林業施策を進める上で重要な組織である。幹事会や専門部会の開催頻度を高め、農林業の振興を更に推進する必要がある。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
構成団体のJALまね雲南地区本部、大原・飯石森林組合より一定の負担を求めることを検討する必要がある。 幹事会及び専門部会の開催頻度を高める必要がある。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																			